

ネットワークとコミュニケーション技術で
社会に貢献してまいります。

サイバーコムは、通信分野を中心としたソフトウェアの受託開発を軸に、
多様なニーズに適う高品質なソフトウェアをご提供しています。
さらには自社技術を活かしたソリューションビジネスを展開しています。



2016年3月期 上期 決算説明資料

Cyber Com CO.,Ltd.

2015年11月4日
サイバーコム株式会社
東証二部 <3852>

1. 決算概要	p 3
2. 営業利益増減分析	p 4
3. セグメント別業績	p 5
4. 貸借対照表	p 7
5. キャッシュ・フロー	p 8
6. 業績予想	p 9
7. 株主還元（予想）	p 10
8. 中期経営計画	p 11
9. 参考資料	p 12

当資料の利用に関して

当資料は、投資家の投資の参考となる情報提供を目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。
また、業績予想に関する記述は、当社が当資料発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。
実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

1. 決算概要

Cyber Com

2016年上期 実績

(単位：百万円)

	前期 (14/04-14/09)	当期 (15/04-15/09)	増減／前期比	
売上高	3,969	4,269	299	7.6%
営業利益	250	259	8	3.6%
営業利益率	6.3%	6.1%	—	—
税引前 四半期純利益	259	266	7	2.9%
四半期純利益	161	172	11	7.1%
四半期純利益率	4.1%	4.0%	—	—
1株当たり 四半期純利益	20.12円	21.55円	1.42円	—
ROE (自己資本当期純利益率)	4.8%	4.8%	—	—

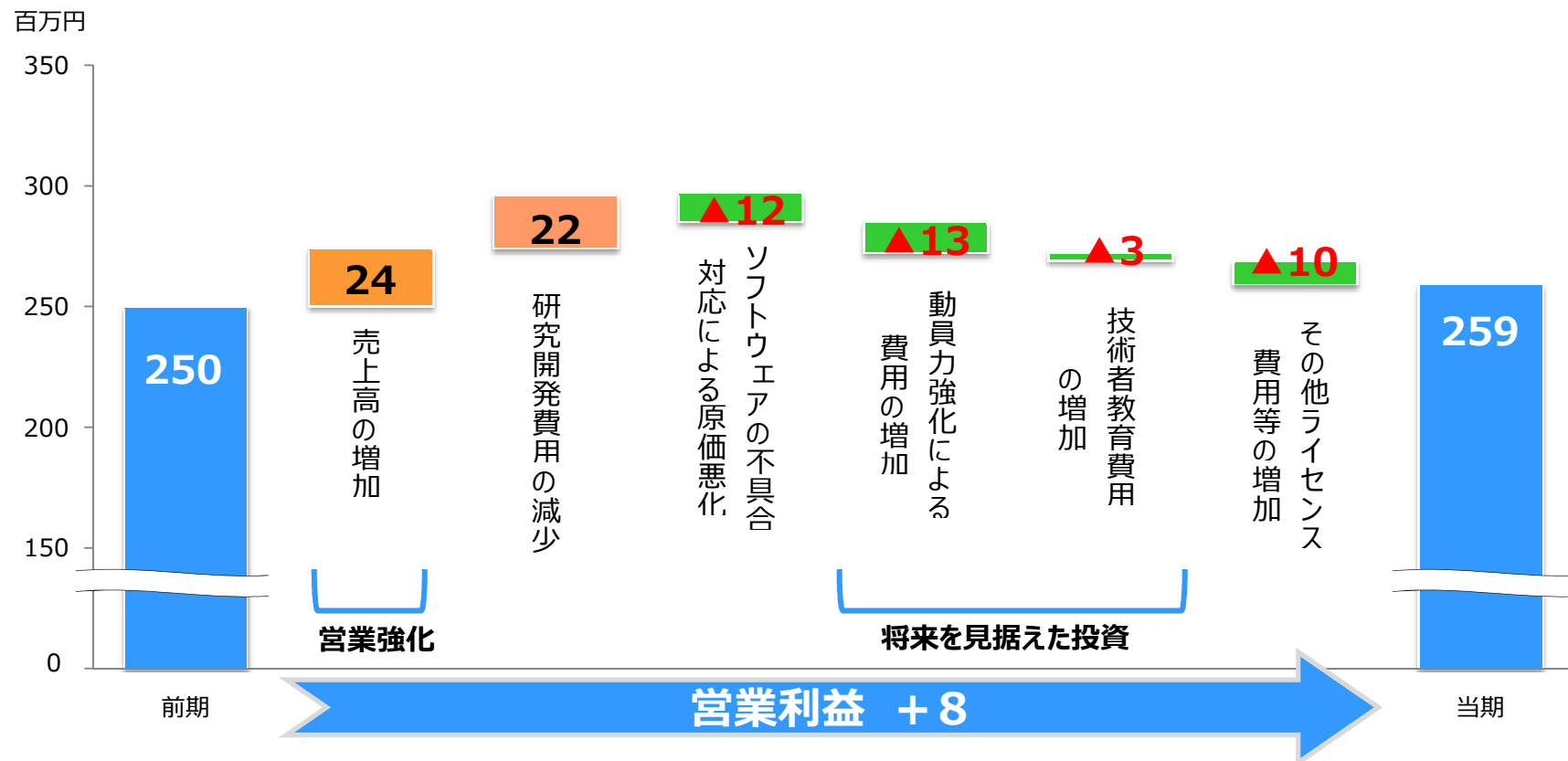
※当社は16/03期の9月1日付けをもって、普通株式1株につき2株の割合で株式分割しております。

前期の1株当たり四半期純利益は当該株式が前期の期首に行われたと仮定して算出しております。

- ◇売上高は、主力のソフトウェア開発事業が好調に推移し、42億69百万円(前年同期比 7.6%増)と増収になりました。
- ◇営業利益は、動員力の強化や技術者教育等の先行投資により販管費が増加しましたが、増収効果等により、2億59百万円(前年同期比 3.6%増)と増益になりました。
- ◇四半期純利益は、税率変更の影響等により税金費用が減少し、1億72百万円(前年同期比 7.1%増)と増益になりました。

2. 営業利益増減分析

2016年上期 実績

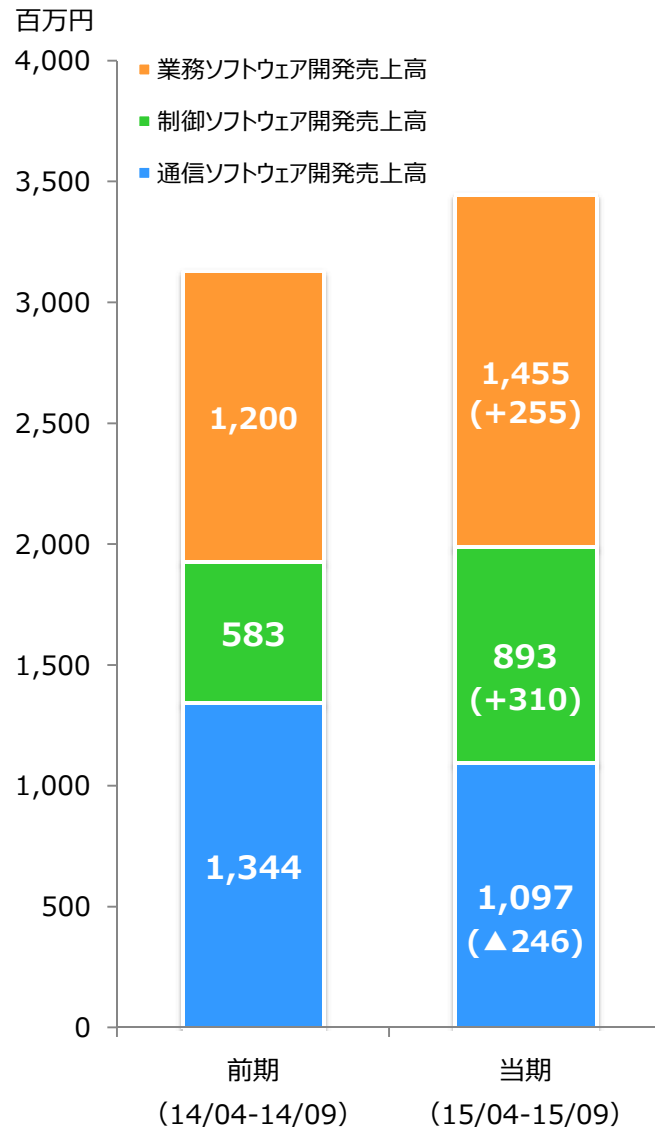


◇営業利益の増加要因

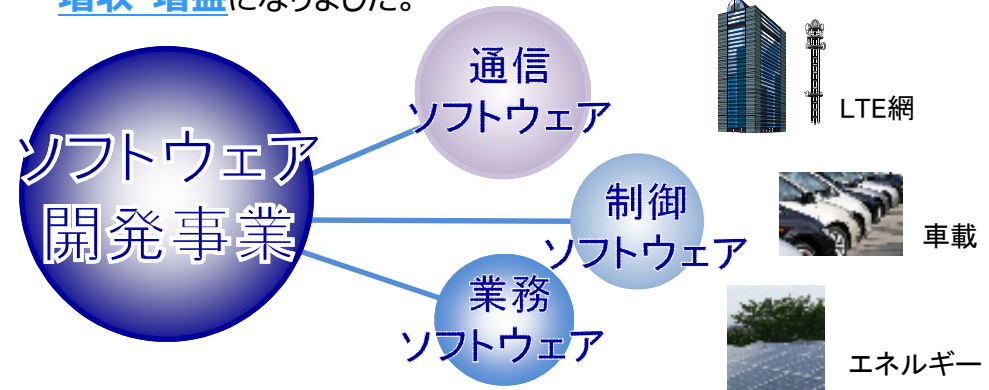
ソフトウェアの不具合対応や、動員力強化に向けた積極的な採用活動、技術者教育の強化を行い費用が増加しましたが、新規顧客開拓に向けた受注活動の推進や成長分野への積極的な営業展開を図り増収を確保したことに加え、研究開発費の減少等もあり増益となりました。

3. セグメント別業績

ソフトウェア開発事業



●売上高は34億46百万円（前年同期比 10.2%増）、営業利益は4億87百万円（前年同期比 5.6%増）と増収・増益になりました。



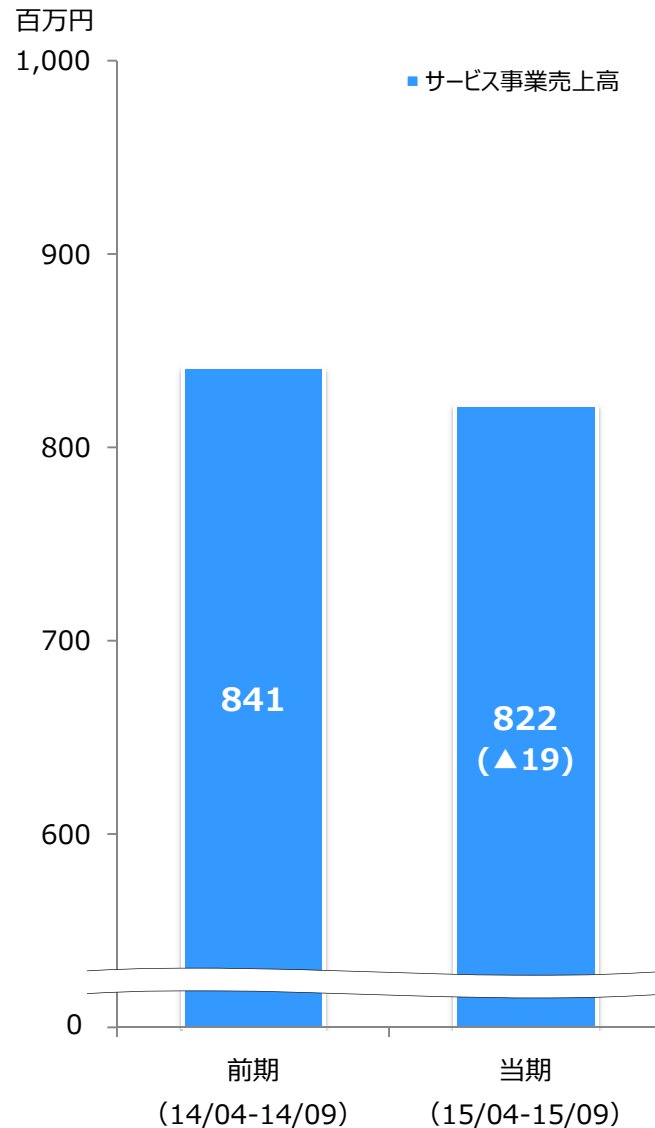
◇通信ソフトウェア開発は、通信キャリア向けシステム案件が大幅に減少し、好調分野への要員シフト等の影響もあり、売上高は10億97百万円（前年同期比 18.3%減）、営業利益は1億40百万円（前年同期比 23.5%減）と減収・減益になりました。

◇制御ソフトウェア開発は、自動車関連の案件が好調に推移し、売上高は8億93百万円（前年同期比53.3%増）、営業利益は1億40百万円（前年同期比46.0%増）と増収・増益になりました。

◇業務ソフトウェア開発は、医療向けシステム、金融向け業務システム開発等が好調に推移し、売上高は14億55百万円（前年同期比 21.3%増）、営業利益は2億7百万円（前年同期比13.6%増）と増収・増益になりました。

3. セグメント別業績

サービス事業



● 売上高は8億22百万円（前年同期比 2.3%減）、
営業利益は1億4百万円（前年同期比 13.7%減）と
減収・減益になりました。

◇ 保守・運用・評価検証案件等の案件減少や、
技術者不足が影響し減収となりました。
また、その影響で営業利益も減益となりました。



4. 貸借対照表

貸借対照表のポイント

(単位：百万円)

	前期末 15/03	当期末 15/09	前期末差
流動資産	5,369	5,248	▲121
現金及び預金	926	801	▲125①
受取手形及び売掛金	1,826	1,863	36
棚卸資産	55	79	23
短期繰延税金資産	185	163	▲21
短期貸付金	2,311	2,293	▲18
その他	64	48	▲16
固定資産	747	786	39
有形固定資産	264	261	▲3
無形固定資産	30	61	30
投資その他資産	452	463	11
資産合計	6,116	6,034	▲81
流動負債	1,310	1,098	▲212
買掛金	232	223	▲8
未払費用	162	170	8
未払法人税等	133	97	▲36①
未払消費税等	208	74	▲133①
賞与引当金	427	395	▲31
その他	147	135	▲11
固定負債	1,245	1,291	45
退職給付引当金	1,223	1,267	43
役員退職慰労引当金	21	23	1
負債合計	2,556	2,389	▲166
純資産合計	3,560	3,645	84②
負債純資産合計	6,116	6,034	▲81

◇主な増減要因

- ①現金および預金（前期末差 ▲1億25百万円）
未払法人税等（前期末差 ▲ 36百万円）
未払消費税等（前期末差 ▲1億33百万円）

前年度分の法人税等及び消費税を納付（負債が減少）したことによる現預金の減少（手持ち資金が減少）。

- ②純資産合計（前期末差 84百万円）

剰余金の配当（88百万円）があったものの、当期純利益1億72百万円により増加しました。

5. キャッシュ・フロー

キャッシュ・フローのポイント

(単位：百万円)

	前期 (14/04-14/09)	当期 (15/04-15/09)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	321	▲35	▲356
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲232	▲3	228
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲68	▲87	▲18
現金及び現金同等物の増減額	20	▲125	▲146
現金及び現金同等物の期首残高	864	926	62
現金及び現金同等物の期末残高	884	801	▲83

◇営業活動によるキャッシュ・フロー

主に税引前四半期純利益が増加したものの、法人税等の支払いや増税後の消費税納付に伴い支出が増加しマイナスとなりました。

◇投資活動によるキャッシュ・フロー

主に社内システム増強等の設備投資による固定資産取得を行いマイナスとなりました。

◇財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払いを行いマイナスとなりました。

6. 業績予想

2016年3月期 予想

(単位：百万円)

	当期 (15/04-15/09)	業績予想(上期) (15/04-15/09)	増減／予想比		業績予想(通期) (15/04-16/03)
売上高	4,269	4,240	29	0.7%	8,700
営業利益	259	257	2	0.9%	500
営業利益率	6.1%	6.1%	—	—	5.7%
税引前 四半期(当期)純利益	266	260	6	2.4%	507
四半期(当期)純利益	172	168	4	2.8%	354
四半期(当期)純利益率	4.0%	4.0%	—	—	4.1%
1株当たり純利益	21.55円	20.95円	0.60円	—	44.13円
ROE	4.8%	—	—	—	—

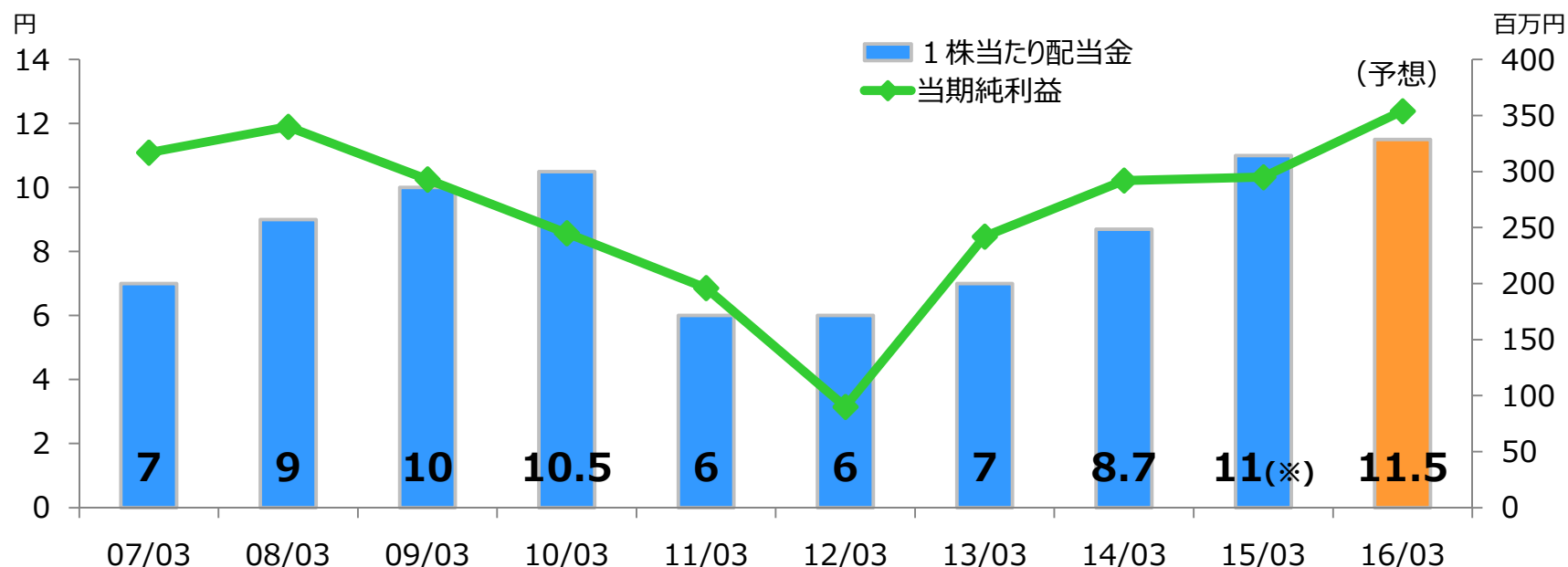
※当社は16/03期の9月1日付けをもって、普通株式1株につき2株の割合で株式分割しております。
1株当たり純利益は当該株式が当期の期首に行われたと仮定して算出しております。

- ◇売上高は、主力のソフトウェア開発事業が好調に推移し、42億69百万円(業績予想比 0.7%増)と増収になりました。
- ◇営業利益は、増収の影響に加え販管費の減少により、2億59百万円 (業績予想比 0.9%増)と増益となりました。
- ◇四半期純利益は、助成金収入による営業外収益の増加により、1億72百万円 (業績予想比 2.8%増)と増益となりました。

※通期の業績予想につきましては、2015年5月11日発表の業績予想のとおり変更ありません。

7. 株主還元（予想）

配当金（年間）：1株につき11.5円
（配当金総額：92百万円 配当性向26.1%）



* 当社は16/03期の9月1日付けをもって、普通株式1株につき2株の割合で株式分割しております。

1株当たり配当金は07/03期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算出しております。

※普通配当 9.5円 + 二部上場記念配当 1.5円

将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、『安定した配当』を継続して実施していくことを基本方針としております。

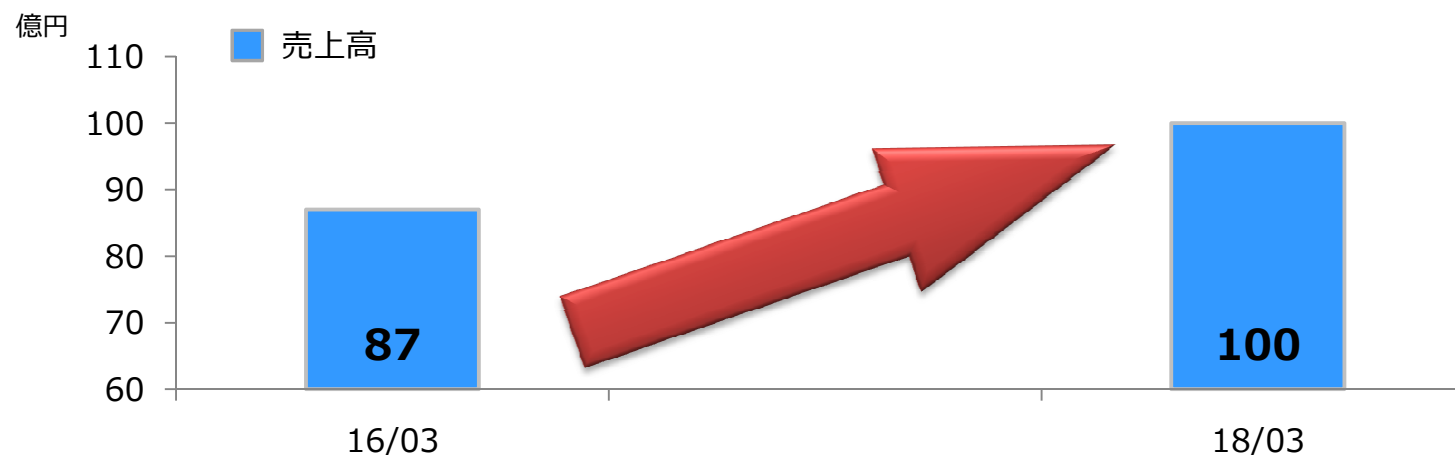
内部留保資金につきましては、今後予想される経営環境の変化に対応するための人材育成や経営情報システムの高度化への積極的投資、さらには、M & Aや新事業創出のための研究開発投資等に活用し、経営基盤の強化を図ってまいりたいと考えております。

上記方針に基づき、今期の利益配当につきましては1株当たり11.5円を予定しております。

8. 中期経営計画

目標とする経営指標

	当期目標 (2016年3月期)	中期経営目標 (2018年3月期)
売上高	87億円	100億円以上
営業利益 OR 営業利益率	5億円	5%以上



◇配当政策

当社は健全なる利益の拡大と株主の皆様への利益還元を重視するとともに ROE（自己資本当期純利益率）の改善を推進してまいります。

◇設定した中期経営目標については、社会・経済情勢や業績を踏まえ毎年見直しを行ってまいります。

9. 参考資料

会社プロフィール

名称：	サイバーコム株式会社 Cyber Com CO.,Ltd.
所在地：	本店 宮城県仙台市青葉区一番町2-7-17 朝日生命仙台一番町ビル 横浜本社 神奈川県横浜市神奈川区西神奈川1-10-10
設立：	1978年12月4日
代表者：	代表取締役社長 渡辺 剛喜
資本金：	3億99百万円
社員数：	880名（2015年9月末現在）
事業内容：	ソフトウェア開発事業、サービス事業

2016年3月期の主なニュース

	内容
2015/4/24	配当予想の修正（東証二部上場記念配当）を決議
2015/5/19	当社ホームページに仙台、新潟、刈谷、福岡の各オフィス紹介ページを開設
2015/5/27	『 Cyber Smart 』シリーズ製品を「コールセンター/CRMデモ&コンファレンス2015 in 大阪」に出展
2015/10/7	『 Cyber Phone 』が「平成27年度みやぎ認定IT商品」に認定 ～2年連続、4度目の認定～
2015/10/9	『 Cyber Smart 』シリーズ製品を11月12日開催「コールセンター/CRMデモ&コンファレンス2015 in 東京」に出展
2015/10/15	コールセンター向け『 Cyber CTI 』のMIS(※)機能を改良した新しい『 Cyber MIS 』の提供開始

(※) MIS = Management Information System (統計管理分析機能)